V 事業報告

令和2年初頭から世界的に拡大した新型コロナウイルス感染症は、日本でも流行が広がり、 HIAの業務についても、令和元年度末頃から徐々に影響が出始め、令和3年度も引き続き、勤務 体制の変更や事業の中止など活動が制限される中、テレワークの実施やオンラインの活用などに より事業を継続し、多文化共生や国際交流の推進に努めた。

≪令和3年度におけるコロナ禍の主な影響≫

【勤務・人事】

◇テレワークの実施による出勤者の削減

- · 6 書削減: 令和3年1月15日(金)~10月1日(金)
- · 2割削減: 令和3年10月4日(月) ~令和4年1月21日(金)
- 4割削減:令和4年1月24日(月)~令和4年2月28日(月)
- ・2割削減:令和4年3月1日(火)~現在

【施設利用】

- ◇情報センター (図書室)
 - ·開館時間短縮:令和2年6月1日(月)~現在
 - ・学習スペース閉鎖:令和3年1月15日(金)~7月12日(月)、 令和3年8月20日(金)~9月30日(木)
- ◇外国人県民インフォメーションセンター
 - 対面相談休止:令和3年8月23日(月)~9月30日(木)

【事業】

- ・オックスブリッジ英語サマーキャンプ、セーヌ・エ・マルヌ県との人物交流、海外研 修員受入等の中止・延期
- ・民間国際交流助成対象事業、居場所づくり助成対象事業等の一部中止 など

1 多文化共生社会の実現

外国人県民を地域社会の一員として受け入れる社会的包摂を念頭に置き、地域の発展に向けてグローバルな多様性を活かして外国人県民が安全で安心して暮らせる社会づくりを進める事業を実施。

(1) 日本語・母語教育の推進

- ア 日本語・母語等の教育支援に係る基盤整備
- (ア) 地域日本語教育の総合的な体制づくりの推進

(R3年度決算額34,088千円) (R2年度決算額28,818千円)

令和元年度から始まった文化庁事業「地域日本語教育の総合的な体制づくり推進 事業」を活用し、全県レベル・地域レベルで日本語教育支援の体制づくりのための 事業・人材育成事業等を実施。

a 兵庫県地域日本語教育の総合的な体制づくり

① 総合調整会議の開催

県・市町、教育機関(大学・日本語学校)、外国人コミュニティ、経済団体等 関係機関が集まり、兵庫県における日本語教育の体制づくりについて協議。

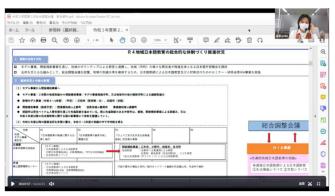
· 時期: 6月11日(金)、2月7日(月)

・形 式:オンライン

・内容:地域日本語教育の総合的な体制づくりに係る事業計画等

② 総括コーディネーターの配置

文化庁事業を推進するため総括コーディネーター2人を配置(うち1人は日本語教育指導員が兼務)し、総合調整会議を開催するほか、全県的な体制づくりのための事業の実施、モデル事業実施地域の体制づくりを支援。



総合調整会議

b 地域の日本語教育体制づくり(市町、協会等への委託)

モデル事業の実施

地域の市町国際交流協会等に原則2年間のモデル事業を委託。令和2年度からの西播磨・但馬地域に加え、令和3年度は東播磨地域でも実施(委託事業については後述)。

② 地域調整会議の開催

市町、教育機関、技能実習生等受入企業、商工会議所・商工会等地域における関係機関が集まり、地域における日本語教育の体制づくりに向けて情報・意見交換等を実施。

③ 地域日本語教育コーディネーターの配置 モデル事業実施地域(西播磨・但馬・東播磨)に地域日本語教育コーディネーターを各1~2人配置し、地域調整会議の開催、地域日本語教室等モデル事業を実施。

c 日本語教育指導員等の配置

外国人県民対象日本語講座、人材育成・支援法研修会等の事業を円滑に実施するため日本語教育指導員等を配置。

d 外国人県民対象日本語講座開催事業

県内の在住外国人の生活場面での対処能力を高めることが重要であることから、 効果的な教育方法を実践・検証し、地域日本語教室への知見の普及を図るため、日本語講座を開催。

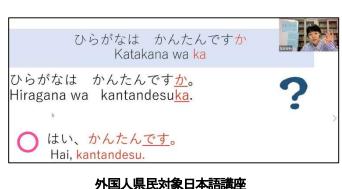
また、県内の在住外国人への日本語教育の推進に向け、日本語教育の活動拠点及 び日本語教育教材の収集・管理の場として、日本語教育推進室を管理・運営。

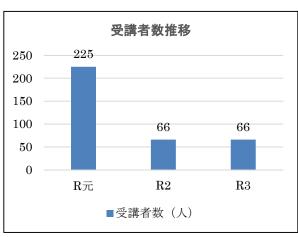
① 外国人県民対象日本語講座

外国人県民の日本語能力向上のため、夜間に学べる文型積み上げ型の日本語 講座を開設・運営。

- ※コロナ禍のため、オンライン授業を実施。第1期、第2期ともに5クラス について定員を通常の3分の2以下にし、授業補助者を配置し実施。
- ・回数等: 初級 年32回、延べ64時間
- ·期 間:第1期5月24日(月)~7月16日(金) 第2期10月19日(火)~12月14日(火)
- ・クラス:5クラス(初級5クラス)
- 受講者:66名(第1期33名、第2期33名) ※定員は年間88人(A・Bクラス7人×2期、C・D・Eクラス10人×2期)
- · 受講料: 各期 1,000 円
- ② 「すぐに役立つ日本語講座」(夏期集中日本語講座)

日常生活で役立つ日本語を効率的に学習したいというニーズに対応して、生 活場面と密着したコミュニケーション能力の習得に資する講座を対面で開設予 定であったが、7月30日(金)に兵庫県が「まん延防止等重点措置」実施区域 に指定されたことを受けて中止。





日本語教師による地域日本語教室等の実施

モデル事業を行う3地域において、ボランティアでは対応が難しいとされる日 本語がほとんどできない外国人に対する日本語教育について、円滑かつ早期に基 礎的な日本語を習得できる機会とするため、専門家である日本語教師が担当する 講座を新たに開設。

- ① 初期日本語教室
 - 対象:地域在住外国人県民(西播磨・但馬・東播磨)
 - ・内 容:新しく地域に転入してきた外国人への日本語学習支援に専門性 を持つ日本語教師が担当し、入門期の教室を開設。
- ② 地域ニーズに対応した日本語教室 地域在住外国人県民(西播磨・東播磨)を対象に、これまで地域で対応で きなかったニーズに応える教室を開講。

◇西播磨

・内容:生活の文字を学ぶ日本語講座、外国につながる子どもの保護 者対象日本語講座

◇東播磨

・内 容: すぐに役立つ日本語講座中級



地域ニーズに対応した日本語講座(たつの市)

f 日本語学習支援人材育成事業

地域の実情に応じた外国人県民への日本語学習支援を推進するため、また、日本語能力が不十分な外国人児童生徒への日本語・学習支援の効果的な支援方法の普及を図るため、日本語教師、学校関係者、ボランティア等を対象に、外国人県民・児童生徒の支援に役立つ研修を実施。

- ① 生活者としての外国人県民(成人)への学習支援者対象研修
 - •時期:11月17日(水)、11月24日(水)、12月8日(水)、 12月15日(水)、1月22日(土)
 - ・形 式:オンライン
 - ・内容: 兵庫県体制づくり推進事業、地域日本語学習支援の意義、支援者の基本スキル、活動のバリエーションおよび実践例の理解
 - ・参加者:89人
- ② 日本語教師対象初期日本語教室担当人材育成研修 日本語教師等を対象に講座(公開講座、連続講座)を実施。

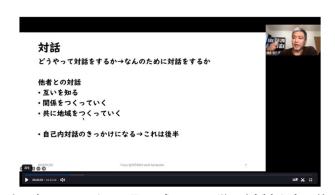
◇公開講座

- · 時期: 6月25日(金)、7月2日(金)、7月9日(金)
- ・形 式:オンライン
- ・対象:有資格日本語教師、有資格日本語教師と同等の知識・経験を持つ学習支援者
- ・内容:国や県の動向、県の地域日本語教育の在り方、「生活者として の外国人」及び日本語教育方法の理解 等
- ・参加者:82人

◇連続講座

- •時期:9月25日(土)、10月23日(土)
- ・形 式:オンライン
- ・対象: HIA 講座・モデル事業日本語講座担当者

- ・内容: HIA が目指す初期日本語教育の目的や実践方法の共有
- ・参加者:15人
- ③ 外国につながる子どもへの日本語・学習支援を考える研修会
 - · 時期:1月23日(日)
 - ・形 式:オンライン
 - ・対象:外国をルーツとする児童生徒への日本語・日本語による学習支援 を行う地域教室のボランティア等支援者
 - ・内容:外国をルーツとする児童生徒の日本語力・教科学習力を育てることにつながる支援方法等
 - ・参加者:76人
- ④ 地域日本語教育コーディネーター育成研修
 - · 時期:8月18日(水)、9月29日(水)、11月10日(水)
 - ・場 所:国際健康開発センタービル
 - ・対象:市町・国際交流協会職員、今後コーディネーターとしての役割を 担う意志のある支援者等
 - ・内容:地域日本語教育の役割、コーディネーターの役割、教室見学、課題解決に向けての方法論等
 - ・参加者:11人



生活者としての外国人県民(成人)への学習支援者対象研修

g ICT 教材等先進事例普及啓発事業

- ① ICT 教材紹介と ICT を利用した学習方法の普及啓発 身近な生活圏に日本語教室がない地域の在住外国人に対する日本語学習機会 の提供の一つとして、ICT 教材を活用した学習方法に関する研修を日本語学校 に委託して実施。
 - · 時期:1月15日(土)、1月29日(土)、2月5日(土)
 - ・形 式:オンライン
 - ・対 象:地域日本語教室で活動する学習支援者
 - ・内容: Z00Mの基本操作、オンラインによる支援方法、ICT 教材についての理解等
 - ・参加者:48人
- ② 生活に必要な日本語のニーズ別学習支援方法の検討 地域の日本語教室における多様化する外国人学習者のニーズに対応するた め、学習者の属性(技能実習生、日本人配偶者、日系人等)や生活上の必要性

(教育、安全に暮らす、社会参加等)を踏まえ、各教室で参考しやすいように 地域事例を整理し、ICT 教材およびその活用方法も加えて情報提供できるよう 準備。

③ 入門期の外国人が学習しやすい教材の作成・普及

標準的カリキュラム案を参考にHIAが2015年に作成した『くらしのにほんご』(英語・中国語・スペイン語・ポルトガル語・ベトナム語版)の内容を入門レベルに焦点を当てて必要性の高いものから整理。モデル事業で一部活用。

※コロナ禍により、HIAでは「すぐに役立つ日本語講座」が中止になったため、令和3年度は試用できず。

h 地域日本語教育啓発事業

① 住民参加型イベント・研修会(モデル事業の一環として実施)

モデル事業実施市での日本語学習者等の地域社会への参加促進に向けて、住 民参加型イベント等をモデル事業実施3地域(西播磨、但馬、東播磨)にて、 地域の実情に合わせて実施。

◇但馬 (豊岡市)

· 時期:1月16日(日)

・形 式:オンライン

・内容: 但馬地域住民対象研修会「外国につながる子どもたちの現状と 課題」

・参加者: 36 人

◇西播磨(たつの市)

· 時期:8月21日(土)

・形 式:オンライン

• 内容: 西播磨地域住民対象講座

第1部「外国人に伝わるやさしい日本語講座」

第2部「チャレンジ!やさしい日本語講座~心と頭を柔らかく

 \sim \rfloor

·参加者:第1部21名、第2部29名

◇東播磨(高砂市)

· 時期:1月30日(日)

・形 式:ハイブリッド(高砂市役所南庁舎2階会議室及びオンライン)

・内容: 多文化共生拠点の整備~高砂市国際交流協会新事務所エントランスリフォーム作戦 キックオフ集会

・参加者:26名

② 地域日本語教育シンポジウムの開催

市町・市町国際交流協会の理解を深めるため、兵庫県で取り組む文化庁事業、国の動向、市町の役割等について説明するシンポジウムを開催。

· 時期:8月3日(火)

・形 式:オンライン

・対象:外国人県民施策に関わる市町担当者、国際交流協会担当者、一般 教室代表者(オブザーバー)

・参加者:51人







地域日本語教育シンポジウム

i 日本語教育体制づくり事業

【新規】

- ① 市町日本語教育体制づくり事業(文化庁間接補助事業) 市町等による外国人県民・児童生徒を対象とした日本語教室等の開催など地域日本語教育の体制づくりを推進するため、市町等による地域日本語教育事業を財政支援。
 - · 対 象:三木市、小野市、加西市、多可町、公益財団法人西宮市国際交流協会
- ② 民間日本語教育体制づくり事業(文化庁間接補助事業) 民間団体・グループによる外国人県民・児童生徒を対象とした県内の日本語 教室等の事業が、外国人県民・児童生徒の居場所として、更には日常生活や緊急 時のセーフティーネットとしての役割を果たすことを目指し財政支援。
 - ・対象: 東灘日本語教室、こうべ子どもにこにこ会、特定非営利活動法人神戸定住外国人支援センター、特定非営利活動法人多文化センターまんまるあかし

(イ) 母語教育の普及啓発

(R3年度決算額405千円)(R2年度決算額664千円)

母語教育は、外国人児童生徒にとりアイデンティティの確立や精神的安定が得られる等大きな効果があるとされているため、母語教育の必要性を普及啓発するパンフレット・事例集を作成。令和2年度にポルトガル語版、ベトナム語版を作成し、令和3年度にはスペイン語版を作成。

- 対 象:学校関係者、母語教育関係者、保護者、一般県民 等
- ・内容:12ページ程度の簡単なパンフレット又は事例集を日本語・母語併記で 作成



母語啓発パンフレット・事例集「日本語とスペイン語と私」

イ 日本語・母語等の教育支援に係る地域連携

(ア) 外国人県民・児童生徒の居場所(サードプレイス)づくり (R3年度決算額11,681千円)(R2年度決算額14,011千円)

外国人県民・児童生徒が定期的に集まることができ地域社会で生活する拠点となるとともに、日常生活や緊急時のセーフティーネットとして機能する、外国人県民・児童生徒の「居場所(サードプレイス)」として地域の日本語教室等の運営を行うボランティア団体等を支援。

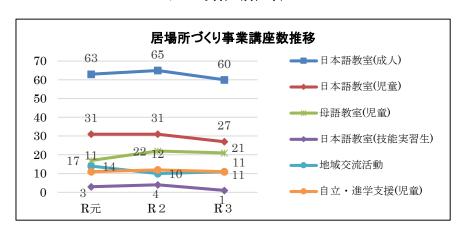
- ① 基本メニュー
 - ◇地域日本語教室の開催
 - ·講座数:60 講座
 - ◇児童生徒対象の日本語・日本語による学習支援教室の開催
 - 講座数:27 講座
 - ◇児童生徒対象の母語・母語による学習支援教室の開催
 - 講座数: 21 講座
 - ◇技能実習生等対象の日本語教室の開催
 - · 講座数: 1 講座
- ② 追加メニュー

上記基本メニューに加えて、地域のニーズに合った取組を実施。

- ◇地域との交流活動事業の実施
 - · 事業数:11 事業
 - ・事業例:地域の人との交流を図る多文化共生イベントや発表会 等
- ◇外国人児童生徒の社会的・職業的自立を支える事業の実施
 - 事業数:3事業
 - ・事業例: 先輩の体験談を聞き将来の目標を考えるワークショップ 等
- ◇外国人児童生徒の進路・進学や未就学児童生徒等の学習(プレスクール) を支える事業の開催
 - · 事業数: 8 事業
 - ・事業例: 入園・入学及び就学前児童のためのプレスクール教室 等



知っとう神戸(神戸市)



(2) 外国人県民への生活支援

ア ひょうご多文化共生総合相談センターの運営

(R3年度決算額38,297千円)(R2年度決算額37,170千円)【県委託】

国の「外国人材の受入れ・共生のための総合的対応策」に基づき、法務省の支援を得て外国人県民への総合生活相談窓口機能を有するセンターとして県が設置する「ひょうご多文化共生総合相談センター」を運営。同センターでは、平日の生活相談は「外国人県民インフォメーションセンター」が実施し、週末相談についてはNGOと協働で「週末相談窓口」において実施。

(ア) 外国人県民インフォメーションセンターの運営

医療、暮らし、社会保障、教育、労働・就職など外国人県民の日常生活の多様な相談に応じるため、5言語による相談員及び専門相談員による生活相談を実施。

また、翻訳アプリ及び電話通訳の活用により、ベトナム語、韓国語、タガログ語、インドネシア語、タイ語、ネパール語等での対応を実施(合計 22 言語)。

なお、3月10日から「ウクライナ避難民等相談窓口」を開設し、ウクライナ語、ロシア語等での相談に対応。

·開設時間:月曜日~金曜日 9:00~17:00

体制:センター長1人、相談員5人

・対応言語:(相談員)日本語、英語、中国語、スペイン語、ポルトガル語

(翻訳アプリ等) タガログ語、韓国語、ベトナム語、インドネシ ア語、タイ語、ネパール語、ミャンマー語、クメール 語、マレー語、モンゴル語、シンハラ語、ヒンディー 語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、ロシア語、ウクライナ語(翻訳アプリ/外部通訳による対応・ 来所及び電話対応のみ、法律相談を除く)

· 相談件数: 3,316件(R2年度実績 3,189件)

(分野別件数 ①医療 779 件、②くらし 656 件、③社会保障 379 件、

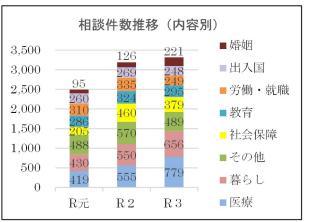
④教育 295 件、⑤出入国 248 件、⑥労働・就職 249 件、)

(言語別件数 ①スペイン語 1,603 件、②ポルトガル語 636 件、③日本語 439 件、

④英語 307 件、⑤中国語 303 件)



外国人県民インフォメーションセンター



(イ) 週末相談窓口の運営

平成31年4月の改正入管法の施行に伴い、外国人労働者の増加が見込まれることから、外国人県民インフォメーションセンターでの相談体制を補完する週末相談を、NGOと協働で実施。

また、週末相談においても、翻訳アプリ及び電話通訳の活用により、外国人県民インフォメーションセンターと同等の言語で対応(合計 21 言語)。

・実施団体:NGO神戸外国人救援ネット

・開設時間:十・日曜日 9:00~17:00

体制:専門相談員2人が電話通訳も活用して対応

・対応言語:(相談員)日本語、英語、中国語、スペイン語、ポルトガル語、 タガログ語

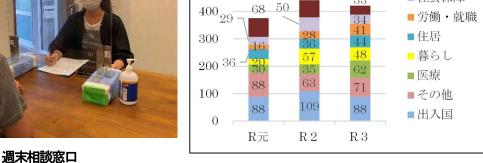
(翻訳アプリ等) 韓国語、ベトナム語、インドネシア語、タイ語、ネパール語、ミャンマー語、クメール語、マレー語、モンゴル語、シンハラ語、ヒンディー語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、ロシア語(翻訳アプリ/外部通訳による対応・来所及び電話対応のみ、法律相談を除く)

·相談件数: 421件 (R2年度実績 441件)

(分野別件数 ①出入国88件、②医療62件、③くらし48件)

(言語別件数 ①日本語126件、②英語105件、③タガログ語82件)





相談(週末)件数推移(内容別)

63

■婚姻

■社会保障

(ウ) NGO/NPO が行う夜間相談活動等の支援

・対象団体: NGO 神戸外国人救援ネット、特定非営利活動法人篠山国際理解センター

500

• 相談件数: 397件(2団体合計)

団体名	対応言語	相談日時	件数
NGO 神戸外国人救援ネット	英・スペイン・ ポルトガル・タガログ語	毎週金曜 17 時~20 時	156
特定非営利活動法人 篠山国際理解センター	英・ポルトガル語	毎週水曜 13 時~16 時	241

イ HIA 日本語及び多言語 WEB サイトの運用・保守

(R3年度決算額2,017千円)(R2年度決算額3,171千円)

平成30年9月に全面リニューアルした日本語WEBサイト及び多言語WEBサイトを通じて 県内在住の外国人、支援者等に対する生活・講座情報等が円滑に発信できるよう、同システ ムの運用・保守を実施。

- ・改修内容: 多言語 WEB サイトに「外国人へのお知らせ」へのリンクバナー設置等
- ・多言語 WEB サイトの言語: 英語、中国語、スペイン語、ポルトガル語、ベトナム語、や さしい日本語



多言語 WEB サイトに「外国人へのお知らせ」へのリンクパナー設置

ウ 外国人県民向け多言語情報発信事業

(R3年度決算額1.925千円)【一部県委託】

災害時等に緊急情報を多言語で情報発信できる体制を整備し、情報不足による外国人県民 の不安を軽減。

① 災害時·非常時等多言語緊急情報翻訳事業

災害時・非常時等の翻訳について、翻訳・通訳を専門とする団体・企業と委託契約を 締結し、早急に多言語で情報発信をする体制を整備。

- ・委 託 先:特定非営利活動法人多言語センターFACIL、株式会社イー・シー・プロ
- ・翻訳内容:新型コロナウイルス感染症に関する知事メッセージ、ワクチン多言語専 門相談窓口広報チラシ 等
- 件 数:34件
- ② 多言語情報翻訳事業

外国人県民に必要な情報を適宜翻訳し発信。

- 件 数: 0件
- ③ 多言語情報発信連絡会議の開催

外国人県民向けの情報提供のあり方などを外国人コミュニティ団体等と定期的に意見 交換を実施。

- · 時 期:10月29日(金)
- 場 所:国際健康開発センタービル
- ・参加団体:ベトナム夢 KOBE、ひょうごラテンコミュニティ、特定非営利活動法人関 西ブラジル人コミュニティ CBK、神戸地方気象台 等



多言語情報発信連絡会議

工 災害時外国人支援

(R3年度決算額 190 千円) (R2年度決算額 1,519 千円)

在住外国人が増加する中、災害時に外国人住民も被災者となるケースも増加している。言葉や文化の違いから、災害時に必要な情報を得ることが難しい外国人住民もいることから、特別な支援の必要性が想定される。そのため、多言語支援センターの設置訓練の実施等、災害時に備えるとともに市町及び市町国際交流団体の取組を推進。

- ① HIA 多言語広域支援センター設置訓練 多言語支援センター設置に関するノウハウを習得するため、訓練を実施。
 - 時期:3月16日(水)
- ② 災害時通訳・翻訳ボランティア研修
 - · 時期:2月19日(土)
 - ・形 式:オンライン

- •参加者:11名
- ③ 災害時外国人支援助成事業

県内の市町国際交流団体等が行政と連携して実施する災害時の外国人支援事業に対して助成。

- ・助成件数:1件26千円(R2年度実績 0件)
- ④ 災害時外国人対応の手引きの作成

避難所での外国人対応に向けた準備を進めることを目的として、災害時外国人対応の 手引き「避難所における災害時外国人対応と事前に準備しておきたいこと」を作成。

- 時期: 2月
- ・主な内容:避難所運営における留意点、避難所での外国人対応に役立つツールの紹介、市町や市町国際交流協会での事前準備等



HIA 多言語広域支援センター設置訓練

オ 子どもと親の防災ガイドブック改訂事業

【新規】

(R3年度決算額1,240千円)

平成24年度に外国人児童生徒への母語教育教材として作成した「子どもと親の防災ガイドブック」について、外国人コミュニティ団体等の意見を踏まえて、令和3年度に9言語中5言語を改訂。

・改訂言語:英語、中国語、スペイン語、ポルトガル語、ベトナム語



表紙

内容(見開きで、英語と母語を併記)

カ 外国人県民生活サポート活動の支援

(R3年度決算額4.503千円) (R2年度決算額4.500千円)

外国人コミュニティによる母語での相談や情報提供などの生活支援活動に対する支援を行うほか、特に子どもに対する母語教室や母文化保持イベントの開催等の支援を拡充。

・対象:ベトナム夢 KOBE、ひょうごラテンコミュニティ、特定非営利活動法人関西 ブラジル人コミュニティ CBK

キ 医療機関における外国人患者受入環境の整備

(R3年度決算額3,001千円) (R2年度決算額3,001千円)

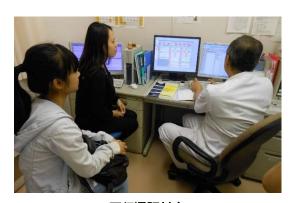
医療機関における外国人患者受入環境を整備するため実施する医療通訳コーディネーターの配置に伴う人件費及び遠隔地通訳システム構築に要する経費の一部を助成。

・対 象: 医療通訳コーディネート機関(市町国際交流協会、NPO等)

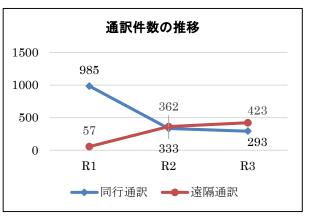
対象事業:医療通訳コーディネーターの配置、遠隔地通訳支援システム構築

• 件 数:同行通訳 293 件、遠隔通訳 423 件

(R2年度実績 同行通訳333件、遠隔通訳362件)



同行通訳対応



(3) 多文化共生への普及啓発

ア 多文化共生を考える研修会の開催

(R3年度決算額1,295千円) (R2年度決算額1,292千円)

外国人県民と接する機会の多い行政職員、教員、日本語教師、ボランティア等が、多文化 共生について理解を深めることができる研修会をNGOと協力しながら開催。

・形 式:オンライン

・対 象: 行政職員、教員、日本語教師、ボランティア、外国人支援 NGO 等

・参加者: 延べ248人

時 期	テーマ	参加者
11月4日 (木)	「日本人」と「外国人」の境界	70 人
11月7日(日)	外国にルーツを持つ子どもの教育	66 人
11月11日(木)	外国人との共生に向けての課題	63 人
11月14日(日)	移住者の困難と支える活動	49 人



多文化共生を考える研修会

2 交流人口の拡大

草の根による国際交流や国際会議の開催、県民の国際理解の促進を通じて、国内外の人的交流を推進し、県民の国際交流を進める事業を実施。

(1) 国際交流の推進

ア ひょうご国際プラザの管理・運営

(R3年度決算額 126, 971 千円) (R2年度決算額 125, 944 千円) 【一部県委託】

各種国際関係情報の提供やNGO等と連携した展示など国際交流等の場として設置している「ひょうご国際プラザ(図書館・交流ギャラリー)」を管理、運営。

利用実績

	令和3年度	令和2年度	対前年同期比
施設利用者数	4,551人	6,911 人	65. 9%
図書貸出数	4, 314 冊	4, 214 冊	102. 4%
交流ギャラリー展示件数	2件	4件	50.0%

② コロナ禍にかかる対応

・開館時間短縮:令和2年6月1日(月)~現在

(開館時間を10時30分~18時30分から10時30分~17時に短縮)

・学習スペース閉鎖:令和3年1月15日(金)~7月12日(月)、8月20日(金)~9月30日(木)



国際情報センター





「にっぽん―大使たちの視線2021」写真展



「にっぽん―大使たちの視線2021」写真展セミナー

イ 兵庫県海外事務所の運営

(R3年度決算額 163, 271 千円) (R2年度決算額 157, 019 千円) 【県委託等】

兵庫県の国際戦略を推進する拠点として、海外における友好交流、経済交流、観光交流事業を展開するため、兵庫県ワシントン州事務所、西オーストラリア州・兵庫文化交流センター、兵庫県パリ事務所、兵庫県ブラジル事務所及び兵庫県香港経済交流事務所を運営。

① 経済交流事業の展開

ひょうご産業活性化センターとの連携により、現地事務所のネットワークを生かして、地場産品の海外販路開拓など県内企業の現地活動を支援。また、海外の経済発展を本県の新たな経済成長に取り込むため、外国・外資系企業の県内への誘致を促進。

② 観光交流事業の展開

観光フェア等への出展やセミナーの開催など様々な機会を捉えて、現地の政府関係者・旅行業関係者などに対して本県をPRすることで、外国人観光客の誘致を促進。

③ 友好交流活動の展開

友好・姉妹州省を中心とする世界の各地域と双方の課題解決に向けた交流を推進する ため、市町レベル・県民レベルの交流支援のほか、兵庫のプレゼンスを高めるための日本文化紹介事業や日本語教室の開催、学校間交流やスポーツ交流など、広範囲にわたる 友好交流活動を展開。

④ 草の根ネットワークの構築

海外事務所の円滑な運営を図るため、現地関係者・団体等とのネットワークを構築し、人材活用など相互に協力を実施。また、ワシントン州及び西豪州では、これまでの文化活動を通しての草の根活動を継続し、南米では本県出身者の現地コミュニティ活動を支援。

区	分	兵庫県ワシン	西オーストラリア州・	兵庫県パリ事	兵庫県ブラジ	兵庫県香港経
		トン州事務所	兵庫文化交流センター	務所	ル事務所	済交流事務所
設	置国	アメリカ合衆国	オーストラリア 連邦	フランス共和国	ブラジル 連邦共和国	中華人民共和国
設	置都市	シアトル	パース	パリ	クリチバ	香港
設	置時期	Н2.5.1	H4.8.1	Н5.10.1	H18. 4. 1	H24. 10. 1
担当	当エリア	北米、 メキシコ	オーストラリア	ヨーロッパ、トルコ	中南米(メキシコ除く)	中国 ASEAN 等 インド
県職	機員の配置	1名	1名	2名	1名	1名
1 '	町等か の派遣	副所長1名 (神戸市から派遣)	_	_	_	副所長1名 (民間企業から派遣)
連	広 域	0	0	0	0	0
携	ビジネス	\bigcirc	0	0	0	0
体	県立大	0	0	0	_	0
制	神戸大	0	0	_	_	_
*	神戸市	0	_	_	_	

※「広域」:関西広域連合共同事務所、「ビジネス」: ひょうご海外ビジネスセンター参与(経済交流担当)、「県立 大」: 県立大学海外事務所、「神戸大」: 神戸大学海外事務所、「神戸市」: 神戸市との共同事務所



オンライン日本酒セミナー(ワシントン州)





サン=フルール市「日本祭り」(パリ)



パラナ州知事表敬(ブラジル)



スクールビジットで現地高校来訪(西豪州)



香港国際旅行展示会・姫路市とコラボブース出展(香港)

ウ 海外展開支援ブースへの出展

(R3年度決算額237千円) (R2年度決算額251千円)

中小企業の海外展開支援に対する海外事務所の積極的な取組をアピールするため、国際フロンティア産業メッセに出展。

· 時期:9月2日(木)、3日(金)

エ 県民交流団の派遣

【新規】

(R3年度決算額0千円)

兵庫県が西オーストラリア州との姉妹提携締結40周年を迎えること、また、令和2年度 に予定していたがコロナ禍により開催を延期したパラナ州との友好提携締結50周年、海南 省との友好提携締結30周年事業について、これらを記念し友好関係を推進するため、県民 交流団の派遣と県・現地政府との共同記念行事に参加することを予定していたが、引き続き コロナ禍の収束が見通せないことから中止。

- ・西オーストラリア州姉妹提携締結40周年(令和3年度)
- ・ブラジル・パラナ州友好提携締結50周年(令和2年度)
- ・中国・海南省友好提携締結30周年事業(令和2年度)

オ ひょうごホームステイ受入の調整

(R3年度決算額0千円)(R2年度決算額0千円)

県内に滞在する外国人に兵庫の魅力を知ってもらうとともに、外国人及び受入家庭の双方が異文化に対する理解を深め、交流を活発化できるよう、ホストファミリーとホームステイを希望する外国人のマッチング等を行う予定であったが、コロナ禍により交流事業が中止となったため、受入実績はなし。

- ・対象者:関係団体、HIAの実施する各種青少年交流プログラム参加者、県内大学等の留 学生で大学から受入れ依頼があった者
- · 登録数: 60 家庭

カ 訪日教育旅行の誘致促進・学校交流支援

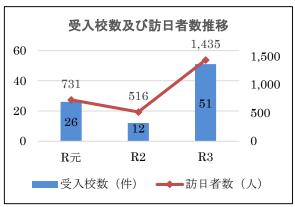
(R3年度決算額9,121千円) (R2年度決算額8,394千円) 【県補助】

訪日教育旅行において重視されている学校交流等を県内において促進するとともに、若年層の交流拡大によるリピーターや兵庫のファンづくりを図るため、教育委員会・学校・地域等における受入体制の充実に向けた調整を実施。

コロナ禍のため、学校交流については、対面では実現しなかったが、県内と海外の高校生等との国際交流の推進に向けて、オンライン交流を支援するとともに、関西5府県でオンラインプロモーションに参加。

- ① 学校交流等受入実績
 - ・形 式:全件オンライン
 - ・実 績:51件(台湾44、韓国4、米国1、豪州1、ニュージーランド1)1,435人
- ② オンラインプロモーション
 - ◇マレーシアプロモーション
 - •時期:10月28日(木)
 - ◇米国プロモーション:
 - · 時 期:12月10日(金)
 - ◇台湾プロモーション
 - · 時期:1月17日(月)~19日(水)
 - ◇中国プロモーション
 - · 時 期:3月10日(木)~14日(月)





オンライン交流(香寺高校)

キ 草の根の国際交流の推進

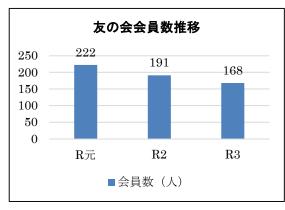
(R3年度決算額331千円) (R2年度決算額330千円)

HIA 事業・活動への支援組織である HIA 友の会会員 (3月末現在168名) を中心に、県民が主体となった草の根の国際交流や多文化共生づくりを積極的に実施。

- ① 交流の集い(コロナ禍により中止)
- ② 国際交流サロン
 - ◇第1回(台湾編)
 - · 時 期:6月25日(金)
 - ・形 式:オンライン
 - •参加者:60人
 - ・内容:台湾の生活、食を通した台湾文化、手遊びなどの紹介
 - ◇第2回 (エジプト編)
 - · 時期:8月2日(月)
 - ・形 式:オンライン
 - ・参加者:50人
 - ・内容:エジプト料理やエジプトの言葉、エジプトと日本の共通点などの紹介
- ③ 食文化交流教室
 - ・形 式:オンライン (YouTube) で公開
 - ・内容: インドネシア・バリ島の「サンバルマタ・ソース」の作り方や魚とチキンを 使ったアレンジ料理の紹介動画を作成し、1月から公開



国際交流サロン(第2回・エジプト)



(2) 知的交流の推進

ア 国際協力セミナーの開催

(R3年度決算額37千円)(R2年度決算額73千円)

開発途上国をめぐる諸問題や国際協力に対する県民の理解を深め、国際協力活動への参画を促すため、国際協力の専門家、県内NGOの活動家や青年海外協力隊OB等を講師に招き、国別・テーマ別のセミナーやフォーラムを開催。

◇第1回

・時期:9月18日(土)・形式:オンライン

・参加者:125人

・内容:「いるかと南の島々と〜誰かに話したくなる島のはなし〜」をテーマとして、ミクロネシアとメラネシアを題材に、JICA との共催で実施。海外協力隊帰国隊員による任地の文化や島々の抱える問題などに係る講演のほか、パラオの国際サンゴ礁センターをライブでつなぎ、イルカと触れ合える施設「ドルフィンズパシフィック」の活動や環境問題を紹介

◇第2回

・時期:1月20日(木)・形式:オンライン

・参加者: 324 人

・内容:「行こう!大エジプト博物館のウラ側へ!」をテーマとして、JICAとの共催で実施。エジプト・ギーザの「大エジプト博物館(GEM)」の開館にあたり、保存修復に携わる専門家らが国際協力のウラ話を披露したほか、博物館に対する日本の技術支援、文化支援を紹介



第1回 (いるかと南の島々と~誰かに話したくなる島のはなし~)





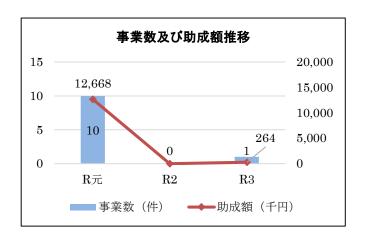
第2回(行こう! 大エジプト博物館のウラ側へ!)

イ 国際会議開催への助成

(R3年度決算額265千円)(R2年度決算額0千円)

県内への国際会議誘致を促進するため、会議開催費の一部を助成しているが、今年度もコロナ禍の影響でほとんどがキャンセルまたは延期となった。

· 件 数:1件264千円(R2年度実績 0件)



ウ 国際会議場の活性化への支援

(R3年度決算額500千円)(R2年度決算額500千円)

国内外のさまざまな人と交流・体験できる「こころづくり絵画コンクール」を美しい自然環境に囲まれた淡路夢舞台国際会議場を会場に、株式会社夢舞台などと共催により開催。

· 時期:10月17日(日)

・参加者:537人(うち外国人65人)

(3) 国際理解の促進

ア 民間国際交流事業への助成

(R3年度決算額1,354千円) (R2年度決算額1,478千円)

県民による国際交流活動を育成・奨励するため、先駆的・先導的な国際交流事業に対し助成。

・助成額: 助成対象経費の1/2(上額10万円)

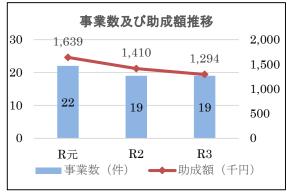
・対 象: 県内で国際交流活動に継続的に取り組む NGO/NPO 等の非営利団体 が行う国際交流事業

・交付決定件数: 27件2,000千円(うち8件辞退)

・交付件数:19件1,294千円 (R2年度年度実績 19件1,410千円)



兵庫県ユニセフ協会「国際理解講座」



イ 国際交流団体等ネットワークの構築

(R3年度決算額811千円) (R2年度決算額891千円)

県内の国際交流団体が有するノウハウや情報の共有、有効活用を図るネットワークを構築し、団体相互の連携を推進するため、「ひょうご国際交流団体連絡協議会」(HIA、県内36市町の国際交流協会及び準会員5町で構成)の活動を支援するとともに、「ひょうご国際交流メールマガジン」を広く配信するなど、情報発信を強化。

- ① 総会
 - 時 期:5月25日(火)13:30~15:00
 - ・形 式:オンライン
- ② 講演会
 - · 時期:9月3日(金)
 - ・形 式:オンライン
 - ・講師:武蔵大学社会学部教授アンジェロ・イシ氏
 - ・テーマ:「在住外国人と"情報"」
 - ・参加者:23団体49人
- ③ 情報共有・発信
 - ◇ひょうご国際交流メールマガジンによる各団体のイベント情報の掲載
 - · 発出回数:12回
 - ◇Facebook による協議会事業、会員団体事業及び災害時等の情報の発信
 - · 更新回数: 140 回
 - ・内 容:新型コロナウイルス感染症に関する知事メッセージ、新型コロナウイルス感染症関連情報、イベント情報 等
 - ◇地域で活躍する外国人を「"応援しよう"ひょうごの仲間」として紹介
 - 紹介人数:6人
- ④ 人材育成事業
 - ◇通訳・翻訳ボランティア研修
 - ・時期:1月15日(土)
 - ・形 式:オンライン
 - ・参 加 者:3団体19人
 - ◇テーマ別研修会・講演会
 - · 時期:12月11日(十)
 - ・形 式:オンライン
 - ・内 容:医療・保健医療通訳ボランティアを知るための基礎研修
 - •参加者:5団体22人
 - ◇「やさしい日本語」講師の派遣
 - •派遣回数:5団体9回
- ⑤ 啓発·普及事業
 - ◇地域別意見交換会による情報共有
 - · 実施回数:各地域1回
 - ◇会員団体新任職員向け研修
 - · 時期:6月21日(月)
 - ・形 式:オンライン
 - ·参加者:22団体30人
 - ◇会員紹介冊子の発行(年1回)

⑥ 表彰事業(草の根国際功労賞)

例年、表彰式を総会と同時開催しているが、令和2年度は総会が書面開催となったため、令和3年度の総会で、令和2年度受賞者も表彰。

·個 人:令和3年度分5人、令和2年度分2人

• 団 体:令和3年度分2団体、令和2年度分3団体







「やさしい日本語」講座

ウ ひょうご国際交流キャラバンプロジェクト

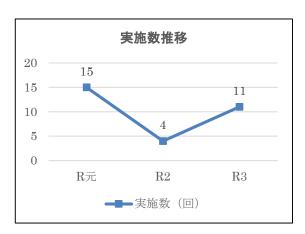
(R3年度決算額 10,068 千円) (R2年度決算額 5,025 千円)

兵庫県国際交流員 (CIR) を HIA 内に配置するとともに、「ひょうご国際交流団体連絡協議会」の構成団体等と連携して、CIR の企画による国際交流イベントを各地で実施することにより、各地域の団体を活性化するとともに、ネットワークを強化。

・回 数:11回 (R2年度実績 5回)

派遣日	団体名	行事名
9月1日 (水)	尼崎市国際交流協会	ひみつの国民SHOW!~日本の 魅力を伝えよう~
10月24日(日)	宍粟市国際交流協会	第17回宍粟国際ふれあいまつり
11月7日(日)	公益財団法人加古川市国際交流協会	はじめての国際交流
11月13日(土)	播磨町国際交流協会	インターナショナルデー
12月3日 (金)	公益財団法人西宮市国際交流協会	西っ子ワールドウィーク
12月12日(日)	伊丹市国際・平和交流協会	つながる!ひろがる!みん なの文化
12月18日(土)	公益財団法人西宮市国際交流協会	NIA 地球っこクラブ
12月19日(日)	公益財団法人姫路市文化国際交流財団	オンライン交流会 事前オリエン テーション
12月20日 (月)	尼崎市国際交流協会	ひみつの国民SHOW!~日本の 魅力を伝えよう~
1月16日(日)	播磨町国際交流協会	韓国料理教室
2月27日(日)	尼崎市国際交流協会	ODA event 異文化交流会





インターナショナルデー(播磨町)

エ 草の根の国際交流の推進

(再 掲)

オ 海外移住と文化の交流センターへの支援

(R3年度決算額 264 千円) (R2年度決算額 502 千円)

平成21年6月に開館した神戸市立海外移住と文化の交流センターにおいて、在住外国人が日本人へ自国文化を発信し交流する事業を特定非営利活動法人関西ブラジル人コミュニティCBKとの協働で実施し同センターを活用。

①移民祭(4月24日(土)に予定していたが、コロナ禍により中止)

②ブラジル・日本の子どもの絵の交流展

· 時期:8月3日(火)~12月28日(火)

・参加者:延べ約390人

③サロンカーニバル

· 時 期:2月20日(日)

•参加者:26人



ブラジル・日本の子どもの絵の交流展

カ 広報紙 (Come HIA) の発行

(R3年度決算額1,718千円) (R2年度決算額1,821千円)

国際交流・協力に関する各種情報及び協会の活動状況等を掲載した広報紙「Come HIA」を発行し県民の国際感覚の醸成及び国際理解を促進。また、外国人県民に向けて、英語版、中国語版、韓国語版(いずれも電子版)を発行。

・発行時期:10月、3月・発行部数:各号約5,000部





Come HIA102 号、103 号

キ 関係団体への支援

(決算額 各協会で計上)

兵庫EU協会、日本国際連合協会兵庫県本部、JICA海外ボランティアひょうご応援団の活動を支援することにより、国際問題や国際協力への関心を喚起するとともに、新たな交流のきっかけづくりを実施。

① 兵庫EU協会への支援

◇ルーマニア~スラブ圏に飾るラテンの花束

・時期:12月4日(土)・形式:オンライン

・参加者:79人

◇在京都フランス総領事講演会

(3月18日(金)に神戸酒心館で予定していたが、コロナ禍により延期)

② 日本国際連合協会兵庫県本部への支援

◇ワークショップ難民への支援

, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	- 10·
時 期	テーマ
6月23日(水)	難民とは
7月7日 (水)	難民になる
7月21日(水)	難民を受け入れる

◇難民問題セミナーへの支援

時 期	テーマ
12月1日 (水)	日本における難民認定制度の現状と課題
12月8日 (水)	アフガニスタン難民はいま
12月15日 (水)	ミャンマー難民の現状と支援活動

- ◇防災教育イベント「イザ!美かえる大キャラバン」への共同出展 (コロナ禍により出展中止)
- ③ JICA 海外ボランティアひょうご応援団への支援
 - ◇国際協力入門セミナーの共同開催

時 期	テーマ
9月18日 (土)	いるかと南の島々と~誰かに話したくなる
	島のはなし~
1月20日(木)	行こう!大エジプト博物館のウラ側へ!

◇JICA ボランティア派遣前オリエンテーションの支援(コロナ禍により行事中止)

3 人づくりへの貢献

外国人留学生への支援や外国人研修員の受入等国際社会を担う次代の国内外の人材育成を進める事業を実施。

(1) 外国人留学生の支援

ア 私費外国人留学生奨学金の支給

(R3年度決算額51,896千円) (R2年度決算額52,330千円) 【一部県補助】

外国人留学生の生活の安定を図り学習活動を支援するため、私費外国人留学生に対し、奨学金を支給。県内中小企業が人材として期待している東南アジア等からの留学生を確保するため、アジア新興国枠を設定。また、全カリキュラムを英語で行い、ビジネスマネジメントを学ぶ学科等の学生を対象とするグローバルビジネス枠を設定し、大学の更なる国際化を支援。

① 奨学金の支給

•支給額:月額3万円

・支給期間:1年間(アジア新興国枠:2年間)

· 支給実績: 148 人

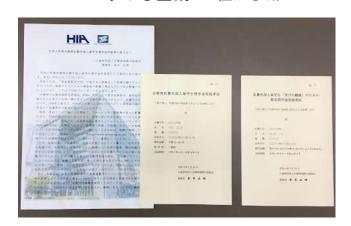
(一般枠 78 人、グローバルビジネス枠 30 人、アジア新興国枠 40 人)

② 就職活動支援の実施

· 時 期:6月23日(水)、24日(木)

・形 式:オンライン

・内 容:「外国人のための企業説明会」を関係機関と共催し、対象と なる受給者の参加を促進。留学生約800人と国際的な人材を 求める企業25社が参加







外国人のための企業説明会のチラシ

イ 私費外国人留学生「学びの継続」のための緊急奨学金の支給

(R3年度決算額35,385千円) 【県委託】

長引くコロナ禍の影響により、アルバイト収入の大幅な減少や母国の保護者からの仕送り が減少するなど、経済的に困窮している大学等の私費外国人留学生の生活安定を図るため、 緊急に奨学金を支給。

支給額:年間最大36万円(月額3万円を12ヶ月支給相当)

支給期間:8月~3月

· 支給実績: 100 人

(2) 人材育成

ア ひょうご海外研修員の受入

(予算額 0 千円)

(R3年度決算額0千円)(R2年度決算額0千円)

兵庫県の友好州省をはじめとする諸外国から優秀な青年を研修員として受入れて研修機会を提供し、課題解決型の交流を促進することとしていたが、コロナ禍により中止。

イ セーヌ・エ・マルヌ県との人物交流の促進

(予算額0千円)

(R3年度決算額0千円)(R2年度決算額449千円)

セーヌ・エ・マルヌ県との人物交流(研修員の受入及び日仏交流コーディネーターの派遣)を行い、両県民間の相互理解と友好関係を促進することとしていたが、コロナ禍により中止。

ウ 外国人学校交流の推進

(予算額800千円)

(R3年度決算額687千円)(R2年度決算額176千円)

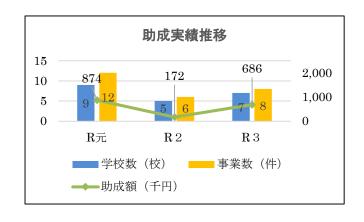
外国人学校に通う児童生徒が兵庫県内の自然とのふれあいや地域住民との交流を通し、地域、ひいては兵庫県への理解を深めることを目的に、外国人学校が実施する自然学校等の事業に対し助成。

· 対象者: 外国人学校

助成額:助成対象経費の1/3(上限:428千円/校)

・内容: 日帰り若しくは1泊2日以上の県内自然交流施設等での体験学習

・件数:7校8事業(うち日帰り1事業、1泊2日7事業)



≪その他事業≫

1 篠原住宅の管理

(R3年度決算額 収入 0千円 支出 1.497千円) (R2年度決算額 収入 8,657千円 支出 7,908千円)

兵庫県が所有する旧オーストラリア総領事公邸を協会が借り受け、関西地域で活動する外国人ビジネスマン等への住宅物件として賃貸してきたが、現在3棟全てで空き家となっている。

· 所 在 地:神戸市灘区篠原本町

• 敷地面積: 2,400 m²

・建 物:鉄筋コンクリート造2階建 3棟(1,374 m²)

・入居状況:令和2年12月からは3棟全てで空き家となっている(A棟 令和2年12月~、B棟 令和2年7月~、C棟 令和2年6月~)

・対応状況:経費が収入を超える状況が常態化しており、公益目的事業の実施に支障を及 ぼすことが懸念されるため、今後の管理については県と協議を重ね、賃貸契 約期間を令和5年3月31日までとすることを申し合わせている。

2 外国人県民生活サポート活動の支援 〔再 掲〕 3 医療機関における外国人患者受入環境の整備 〔再 掲〕 4 国際会議開催への助成 〔再 掲〕 5 国際会議場の活性化への支援 〔再 掲〕